

## 前回からの進捗状況

資料1

	分類	内容	対応
1	スマホ講座	6/27.30、7/21.25スマホ入門講座を実施。	昨年度に比べ申し込み状況は落ち着いてきている。 2回の講座では学べる内容も限りがあるため、講座内容の見直しも検討している。
2	スマホ随時相談会	7/4.8/1 午後1時から午後4時の2回実施。	今回の随時相談会は、6月、7月に実施したスマホ入門講座のすぐ後に開催し、スマホ入門講座を受講後に何か聞きたいことが出てくれば是非利用していただきたいとご案内した。6月7月利用者は14名
3	スマホ定期相談会	令和5年5月9日から令和6年3月26日までの火曜日に実施 (年末年始、8月15日は実施せず)。	継続して学ぶ場が必要という課題に対し、昨年度から引き続き、菊屋文具店さんのスペースを借りて実施。5月6月7月の利用者数は65名
4	スマホサポーター養成講座	8/17.24.31 実施。	8名の申し込みがあった。対象を高齢者に限定せず、18歳以上とした。学生の参加はなかったが、50代の今までかかわることのない層の申し込みが6名あり、今後の活躍を期待したい。
5	(新規) 出張スマホ相談会	秋から開始予定。	スマホサポーターの活躍の場をつくる目的。 活動の場に出張して欲しいという声があったため。
6	地域活動情報交換会 (旧サブスタッフ卒業生交流会)	7/3萌え木ホールにて卒業生の交流会を実施。	全体を前半後半に分け、前半にポッチャ体験会を行い後半に地域活動の情報交換会を行った。前半のポッチャ体験会は黄金の郷、ポッチャ隊に協力をいただき実施した。16名参加。
7	サブスタッフ養成講座	8/4、9/5市民説明会を実施。	サブスタッフ養成講座市民説明会には両日で17名参加し、講座申込者は14名。 3か所の受入れ介護事業所に振り分けて10月6日から講座を開始予定。
8	短期集中サービスC事業	第1クール 開始前会議5/29、開始後会議9/11.実施 第2クール 開始前会議8/28、	生活支援コーディネーターも参加し、事業終了後地域の中で参加できる地域資源等を提案した。
9	(新規) プレシニア・シニアのための 社会参加説明会	7/18実施 萌え木ホールにて実施。	社会参加、地域参加のきっかけとなるよう8月以降に始まる講座について説明会を実施。周知期間が短かったこともあり、5名申し込み、4名の参加だった。4名とも男性が参加され、自分の興味ある講座につながることができた。
10	(新規) お金の管理に関する啓発	7/28 公民館貫井南分館(朗読劇・意見交換)	参加人数29名(民生委員4名、金融機関等3名、地域住民22名) 昨年度のワークショップに参加協力していただいた悠友クラブ「ぬくい会東」の会長の声かけで、多くの方が集まった。 市民参加による朗読劇を行い、参加者にはより身近な困りごととして感じられたのではないだろうか。 朗読劇後は、みなみ圏域の第2層生活支援コーディネーターにリードしてもらい意見交換を実施した。 参加者に金融機関の方もいたため、意見交換の中では金融機関の立場でのコメントもいただいた。
11	応援ブック	男女比の表示について	男女比、グループの規模がわかるようにアイコンを入れるように修正。